

# 吹田東高校 46期生 3年生進路だより No.6

～夏こそ進路実現に向けて足固めをしていこう～ 2021/07/20

応援団が終了しました。本来ならば、体育祭を盛り上げてくれるはずだったのですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今年も演技のみとなりました。4月から準備をしていく中で、仲間との協力、3年生としての責任の重さ、計画性など、様々なことを学んだと思います。限られた時間の中で、最大限の力を発揮し、華麗で力強い演技ができたことを誇りに思いましょう。

## I. 夏は「受験の天王山」

夏休み明けから、進路関係のスケジュールが詰まってきます。8月末には指定校一覧の発表、9月初旬には指定校推薦者決定。一般選抜の出願は1月ですが、国公立大や私立大の共通テスト利用入試を受験するのであれば、9月末からの共通テスト出願までに、志望校・併願校の共通テスト受験科目を決めておかなければなりません。また、総合型選抜の出願は9月以降、学校推薦型の出願は11月以降です。秋の本番に向けて、夏は進路希望実現のための準備を着実にしていきましょう。

学習計画を立てる際は、夏の時期を、①7月下旬 ②8月上旬 ③8月中旬 ④8月下旬の4つの時期に分けましょう。効率的に学習を行うためには、時期を区切って学習計画を立てることがポイントです。それぞれの時期に、「いつ」「何を」するのかを考え、優先順位をつけて取り組みましょう。

7月	[国公立]選抜方法・入試科目発表 [私立]各大学から募集要項(願書)発表・配付(～12月) ●河合塾共通テスト模試
8月	●指定校一覧発表 ●進路希望調査
9月	[国公立]各大学から募集要項(願書)発表・配付(～12月) [国公立]総合型選抜出願(9月1日以降) ●指定校推薦者決定 ●第2回共通テスト説明会・「受験案内」配付・出願 ●模擬面接指導
10月	
11月	学校推薦型選抜出願(11月1日以降) 学校推薦型選抜試験(～12月)

## II. 7月30日(金)河合塾共通テスト模試

すでに時間割と座席を連絡していますので、確認しておいてください。当日は遅刻しないように、また受験科目の不備がないようにしましょう。マークミスにも気を付けてください。

### <模擬試験の4つの効果>

- ①節目の効果 長期間にわたる受験勉強の集中力を維持する。
- ②自己診断の効果 自分の弱点や課題を見つける。
- ③全国区の効果 全国レベルでの自分の実力の伸びを正確につかむ。
- ④試験慣れの効果 試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につける。



### ＜模擬試験の有効活用法＞

- ① 模試を入試本番と考えて受験しよう・・・模試実施日を入試本番と考えて準備し、実力を出し切るトレーニングをしましょう。
- ② 時間配分を考えよう・・・見直し不足によるケアレスミスを防ぐため、模試でも時間配分を意識して取り組みましょう。
- ③ より多く得点できる答案づくりをしよう・・・入試は1点で合否が分かります。減点のない、ポイントを網羅した答案作成を意識しましょう。
- ④ 受験後、自己採点をしよう・・・受験後に自己採点をするために、解答を問題冊子に控えるようにしましょう。
- ⑤ 間違えた問題と、正解したが理解があいまいだった問題を復習しよう・・・「理解できているか」を基準として、理解不足だった問題は必ず復習しましょう。
- ⑥ 自分の苦手分野を分析し、弱点を克服しよう・・・ただ解きなおすだけではなく、「自分が間違いやすい分野」、「ミスしやすい箇所」などをチェックし、自分の弱点分析に役立てましょう。

### III. 共通テスト

みなさんが受験する令和4年度大学入学共通テストの出題教科・科目について、試験時間と配点が発表されています。当日の時間割も確認しておきましょう。

＜令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目について＞

※2021年6月時点の情報です。変更になる可能性もありますので、十分注意すること。

出題教科・科目		試験時間(配点)
国語	『国語』	80分(200点)
地理	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」	1科目選択 60分(100点)
歴史	「地理A」「地理B」	2科目選択
公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」『倫理, 政治・経済』	130分(うち解答時間120分)(200点)(注1)
数学①	「数学Ⅰ」『数学Ⅰ・数学A』	70分(100点)
数学②	「数学Ⅱ」『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』『情報関係基礎』	60分(100点)
理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	2科目選択 60分(100点)(注2)
理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	1科目選択 60分(100点)
		2科目選択 130分(うち解答時間120分)(200点)(注1)
外国語	『英語』	【リーディング】80分(100点) 【リスニング】60分(うち解答時間30分)(100点) (注3)(注4)
	『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	【筆記】80分(200点)

(注1) 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

(注2) 理科①については、1科目のみの受験は認めない。

(注3) 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答する。

(注4) リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。<令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等より>

文科省共通テスト:<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/index.html>

大学入学共通テストの実施期日については、以下のように発表がありました。  
6月時点での情報ではありますが、現時点での情報として今一度確認しておきましょう。

＜大学入学共通テストの実施期日＞  
試験実施期日： 1月15日(土)・1月16日(日)  
追・再試験実施期日：1月29日(土)・1月30日(日)

## IV. 過去問をやろう

夏休みに一度、過去問を解いて、問題の傾向を知っておきましょう。そうすることで、対策を立てることが出来ます。赤本は図書室でも借りられますので、大いに利用してください。借りたい人がたくさんいるので、長期にならないように注意してください。

## V. 募集要項について

募集要項は夏休みに手に入れておきましょう。個人で取り寄せてもいいですし、進路相談室前にも募集要項が山積みになっているので、必要なものをもって行ってください。あらゆる情報を手に入れる努力を怠ってはいけません。情報収集も受験生の大事な仕事です。

## VI. 先輩からのエール

最終進路先： 島根大学総合理工学部地球科学科  
近畿大学農学部環境管理学科、近畿大学生物理工学部生物工学科 合格

自分は高校受験合格後、春休みに生物、数学をひたすらノートなどに解いていました。なぜ生物と数学かというとその2科目は分かりやすい参考書を読んでいるだけですらすら進むことができたからです。使用教材は、数学は青チャート、生物は【大森徹の最強講義生物】を使用していました。また、数学の計画として高1の間に数学IAⅡBをあて、高2から1年かけて数学Ⅲを終えました。高3の1年間は内容理解があやふやな所を復習に当てました。数学Ⅲの入門教材として【坂田あきらの数Ⅲの微分積分が面白いほどわかる本】を使用していました。

高2の9月頃進路選択で生物か物理の選択で非常に迷いました。生物はここまで円滑に進んでいて生物にしようとしたのですが、自分は数式を用いて身の回りの自然現象を表現したいという願望のほうが、生物進路よりも強かったので生物ではなく物理を選択しました。

しかし、物理の場合、使用教材の【宇宙一分かりやすい高校物理】を熟読でき、その教材についている問題ができて、【物理のエッセンス】についている問題には全く歯が立ちませんでした。そこが物理においての最大の壁でした。

また、化学は膨大な量のうえに難易度もかなり高いので少し先取りが遅れて高1の冬から本格的に入門編として、【坂田あきらの化学計算が面白いほど解ける本】などを読みながら一通り理論化学を終わらせ、無機、有機に入りました。

ここで少し話がずれますが、目指していた大学は九州大、京都工繊大、兵庫県立大、京都府立大、大阪府立大、大阪市立大、信州大、新潟大など近畿圏から地方国公立大学を高1の春から目指していました。内心自分はほとんど私立を考慮していませんでした。しかし、高2の秋の全統記述模試で、京都工繊大や兵庫県立大など国公立はE判定で今までこんなに頑張っている判定かという敗北感を感じ、一時的に精神崩壊しました。このことから、もう二度とこのような判定をとるまいと心に誓い、高2の冬から猛勉強しました。【平日3時間、休日6~12時間】

化学の難しいところは、計算が大変だということと暗記事項は本当に膨大にあるところだと思っています。また、物理では知識は定着しているけれども、問題はまともに解けないという現象が自分は続いたので、ある程度のセンスは要ります。数学は典型的な問題の解き方を知ることだと思います。また、数学は数学ⅠⅡⅢに関してはほとんど問題暗記でなんとかなります。数学Aの場合の数、確率の分野に関してはそれが通用しなかったので、マスターできませんでした。英語は最低でも半年は勉強しないと伸びないと言われており、実際自分は高1で英単語、文法など理系科目と同じぐらい勉強していましたが、高2、高3では伸び悩み、挫折の領域に入りました。国語は英語よりも苦手で定期テストですら50点ぐらいだったのであまりやっていませんでした。しかし、現代文だけは共通テストで点を得たいという目標を立て高3の夏からひたすらセンターの過去問を解いていました。その結果、共通テストで7割程度得点できました。

また、今年はコロナの影響もあり島根大や鹿児島大など安全志向になり地方国立を目指すことにしました。初めの模試ではA判定でしたが、直前はC,D判定だったのでもう無理かなとあきらめながらも勉強を続けました。それでも、本番は何とか第一志望のボーダーラインに届き、島根大に合格できました。

このように、自分は苦手科目を克服しつつ、私立ではなく、国立にいくぞという信念を持つなどして学校の波に飲み込まれないようにしました。まだまだ言いたいことはありますが、これぐらいにしておこうと思います。後輩へのアドバイスとしては【自分たちの信念を持ち、どうか学校の教室の雰囲気だけにはのめられないようにして、目標に向かって突き進んで下さい】です。

最終進路先： 京都女子大学 現代社会学部 現代社会学科  
佛教大学 教育学部 臨床心理学科 合格

私が進路を決定したのは3年の8月頃でした。それまでは、やりたいことがはっきり決まっていませんでした。もともと心理学に少し興味があり、オープンキャンパスに参加するなかで、社会学にも関心がわいてきました。そのようなこともあり、雰囲気が自分に合っていると感じた京都女子大学を第一志望にしました。オープンキャンパスでは、大学の立地や学生の雰囲気が分かるので、2年の夏までには行っておくと良いと思います。

部活は吹奏楽部だったので、勉強との両立は大変でした。塾にも通っていましたが、宿題をこなすのに精一杯で自分の勉強までは手が回りませんでした。ですが、部活がオフになる定期テスト一週間前から、毎日学校の自習室に行き、青葉丘セミナーにも積極的に参加しました。また、放課後は先生方によく質問をしに行っていました。その甲斐あってテストの点数はそれなりに採ることができました。

その後、コロナ休校期間中にだらけた生活を送っていたので、勉強の遅れを取り戻すのに必死でした。私はコツコツ勉強するのが苦手で、その場しのぎのことばかりしていたので、学力が定着していませんでした。だから、学校の日々の授業を甘く見ないでください。

私は、英単語、古単語を毎日繰り返し見るようにしました。英文法は、單元ごとに復習してから、演習問題に取り組みました。そうすると、どこが苦手なのか分かるのでおすすめです。長文は1日一題を目安に解きました。そして暗記科目は定期テストや小テストを大事にして、とにかく早めに取りかかった方が後々楽だと思います。また、赤本は、たくさん解くだけでなく問題形式に慣れ、苦手を潰すために、必ず復習をしましょう。間違えたところをしっかりと追求すると力がつくと思います。

最後に、志望校に手が届かないかもと不安になっても、絶対に諦めず、自分を信じて前に前に進んでください。結果的に自分のためになると思います。